

## Y-House and Studio

**taller**  
Architectural Interior Space Design

株式会社 タジェール  
東京都杉並区大宮 2-13-10 〒168-0061  
T,03-5305-2773 F,03-5305-2774  
<http://www.taller.jp/>

中村 雅子



社)日本建築家協会/関東甲信越支部 住宅部会 杉並地域会  
一級建築士/二級建築施工管理技士/JIA登録建築家

## 建築概要

所在地 神奈川県横浜市  
 用途 事務所併設住宅  
 設計監理 (株)タジュール 中村雅子 増田明(元所員)  
 構造設計 (株)山田構造設計事務所 山田泰範  
 設備設計 (有)ZO設計室 柿沼整三  
 施工 (株)岩本組 相馬好  
 構造規模 RC2階建(TWFS)外断熱工法 木羽目板張り  
 空調計画 ボイドスラブ内温風循環躯体蓄熱暖房(初考案)  
 敷地面積 950.44㎡ (287.51坪)  
 延床面積 299.28㎡ (90.53坪)  
 設計期間 2001年 12月～ 2003年 3月  
 施工期間 2003年 4月～ 2004年 5月  
 photo Nacasa & Partners/Y.Yamada

## 設計趣旨

「自然の中の木の箱」

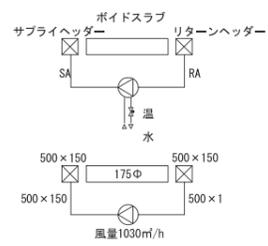
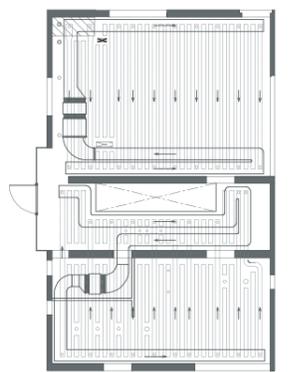
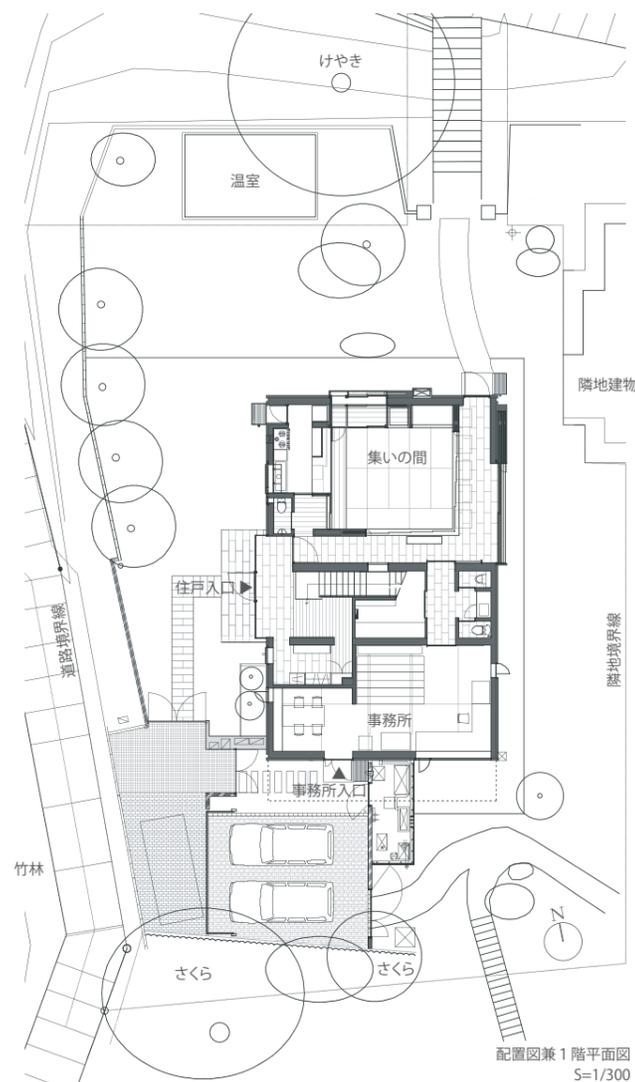
小高い丘の中腹にある緑に囲まれた事務所併設住宅である。周囲の樺・竹林・さくらなどに溶込むように自然の中の木の箱を創りました。

全体の箱は9.5x15mの2層に3つのボリュームを割り当て1階の南アプローチ側に施主の“構造設計事務所”,奥の北側に“集いの間”とし1層は“Public Space”2階の1フロアを“住居層 (Private Space)”それらの中央に“階段コア”を配し1・2階とも外やバルコニーを通して「そと」が「半戸外」として「なか」と繋がっている,平断とも単純で回遊性に富んだplanとなっている。

殆どの部屋が天井高3Mを超えるゆったりとした内部空間に四方の自然の緑を投射できるよう開口部は計画している。

この土地に育った樺の大木を施主の両親が長年蔵に保管しており,原木から柱目に製材し随所に用いることができた。更に建替え前の家屋より柱・長押・床板等の部材や瓦,大谷石などを再利用したり,次の世代に受け継いでいける建物を目指した。

その他の材料としてRCは杉板型枠のうづくり,左官はじゅらく・しゅくい,木には拭き漆,オイル拭き,柿渋仕上げなど自然に風合いを増していく仕上げとしている。



●解説  
 ボイドスラブのボイドをダクト代わりとして,ここに温風を通しスラブに蓄熱する。蓄熱された熱は2FLDK、寝室1F事務室に放熱されて輻射暖房として利用する  
 ●方式  
 1F天井内に放熱専用ファンコイルユニットを2FLDK1セットと1F事務室、2F寝室用に1セット設ける。ファンコイルユニット用温水は灯油焚ボイラーで作り,循環する。  
 ●冬期間は24時間運転を継続する事で快適性と省エネルギーを確立する事が出来る。

